

# 特集

## 障がい者スポーツに取り組むクラブ

### NPO法人しいだコミュニティ倶楽部 ＜福岡県築上町＞

総合型クラブは、障がい者スポーツの推進などの様々な地域課題の解決に向け、地域スポーツ団体等と連携を図ることが重要となってきます。また、地域コミュニティの核として期待されている総合型クラブは、地域の障がい者がスポーツに親しむことができる環境を今後さらに提供することも望まれております。

そこで今回は、障がいのある方も活動しているクラブについてご紹介いたします。

#### 1 クラブ概要

##### スポーツ7教室、文化4教室、ストレッチ教室、大会・イベントを展開

NPO法人しいだコミュニティ倶楽部(通称「しいコミ」)は、多種目、多世代、多志向型を目指し、スポーツ・文化活動の普及・振興を図るとともに地域住民の健全な心身を育成し、明るい豊かな未来の実現を目的に、平成17年3月に設立され、平成24年11月に法人格を取得しました。

会員数は個人226名で、団体では築上町身体障がい者福祉会など3団体(令和4年3月末)が会員となっています。7歳から91歳と幅広い年齢層の皆さんが活動しています。教室はグラウンドゴルフなどスポーツ7教室、書道など文化4教室、ストレッチ教室です。そのほか、大会、イベントを実施しています。

年会費は、個人7,200円(保険料を含む)、団体1口30,000円です。会員は全ての教室に参加(別途参加費が必要な教室有)できます。また、築上町から、体育施設管理運営、貯筋運動教室などの委託を受け事業を実施しています。

##### ★団体会員の3団体★

1. 社会福祉法人恵愛会 障がい福祉サービス多機能型事業所「ワークランド・こすもす」
2. 社会福祉法人陽光福祉会 生活介護・就労支援事業所「陽光学園おやまだ」
3. 築上町身体障害者福祉会

## スタッフ・指導者による運営委を毎月1回開催

事務局は、築上町椎田体育館事務室です。スタッフは、公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー2名、事務1名です。事業実施にあたっては、スタッフ・指導者21名による運営委員会を毎月1回開催し、事業運営をしています。

## 2 障がい者対象のスポーツ教室「ときめき教室」を開催

### 「アダプテッドプロジェクト協議会」とのコラボが契機に

障がい者スポーツへの取り組みのスタートは、アダプテッドスポーツプログラム研究(徳島大学)のモデルクラブになり、「総合型地域スポーツクラブ」と「アダプテッドプロジェクト協議会」とのコラボレーションでの実践により平成24年5月から、フライングディスク体験教室を3か月間実施しました。その後、参加者から続行の希望があり、同年9月から障がい者を対象としたスポーツ教室「ときめき教室」を毎月2回開催し、障がい者と健常者が一緒になった交流スポーツ大会も開催しています。

このことから、障がい者スポーツの取り組みが広がり、築上町から委託を受け、車いすバスケット体験教室の開催や築上町社会福祉協議会から要請を受け、障がい者スポーツ交流会を開催しています。

### 【ときめき教室】

毎月2回開催

参加者： 団体会員の「ワークランド・こすもす」「陽光学園おやまだ」の通所者

参加者数：30～40名

種 目： フライングディスク、だるま落とし、ポッチャ、ストラックアウト、ソフトバレーボール、卓球バレー、ビンゴボード、オーバルボール、カローリング、スポンジボーリング、ビンゴボード、ハッコーなどから3～4種目実施

指導者： 久本成美、奥田義人、川端政廣、馬場千恵子、白川美香

(〔公財〕日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員)

中山育美 (〔公財〕日本パラスポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導員)

### 【交流スポーツ大会】

年1回開催

参加者： 60名

実施内容：障がい者と健常者が一緒になって楽しむポッチャ大会

レク式体力チェック

指導者： 渡邊明江(〔公財〕健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士)

久本成美(〔公財〕日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員)

中山育美(〔公財〕日本パラスポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導員)



**ときめき教室**

月2回の定期教室 アダプテッドスポーツを実践し、誰もが楽しめる工夫やルールを考案して開催しています。



**車いすバスケット体験教室**

築上町の委託を受け開催  
町内の中学校で生徒に指導教室を通じて  
共生社会の在り方を伝えています。

## ニュースポーツ体験の「スポーツ屋台村」も実施

また、スポーツ庁の「令和3年度Specialプロジェクト2020(特別支援学校等を活用した地域における障がい者スポーツ拠点づくり事業)」に当クラブが応募し、採択されたのを受け、福岡県立築城特別支援学校において、いろんなニュースポーツが体験できる「スポーツ屋台村」などを開催しました。※1

事業実施にあたり、スタッフの育成・確保が一番重要であります。そのために、「障がい者スポーツについて」「リスクマネジメントについて」「卓球バレーのルール・実技」などを学ぶための、障がい者スポーツボランティアスタッフ養成講習会を2日間開催し、33名が受講しました。講習会を受講した人を、福岡県立築城特別支援学校における授業やクラブ行事にスタッフとして参加していただいています。

事業を開催するにあたっては、参加者は理解力、身体能力、障がいの程度がそれぞれ異なることから、リスクマネジメントに気を付けています。障がい者の方々がスポーツを楽しみ、一緒にその時間を有意義に共有できるよう、毎回、事前にスタッフによるミーティングを実施し、企画や実施種目を決定しています。

※1 令和3年度「Special プロジェクト2020(特別支援学校等を活用した 地域における障害者スポーツの拠点づくり事業)」成果報告書

[https://www.mext.go.jp/sports/content/20220214\\_spt\\_kensport01\\_000022482\\_01\\_11.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/20220214_spt_kensport01_000022482_01_11.pdf)



**スポーツ屋台村 特別支援学校**

いろんなニュースポーツ体験ができ、大変好評なイベントです。毎年、生徒たちが楽しみにしています。



**障がい者ボランティアスタッフ養成講習会**

専門講師による2日間の講習会  
障がい者スポーツのノウハウや、競技ルール、  
リスクマネジメントなどを習得します。

### 事業実施には財源確保が課題

Specialプロジェクト2020の事業で実施した、福岡県立築城特別支援学校の児童・生徒全員から感想文をいただき、「来年もぜひ学校に来てほしい」との要望がありました。しかし、事業を実施するには財源が課題となります。そのためには各種補助事業を受託する必要があると考えます。

障がい者スポーツを推進していくことで、障がい者、その家族、施設などへのつながりを持つことができました。そして共生社会の実現に向け、障がい者スポーツを通じて、地域にも障がいへの理解を深め、誰もが住みやすく、楽しめる地域になるよう努めていきたいと思えます。

### ニュースポーツを通じて新たな交流の創設を

併せて、ニュースポーツの楽しさや良さを味わう体験を通じて、多様性を認めて自分の力を発揮しようとする力を育成し、社会参加への意欲や地域社会との新たな交流のきっかけづくりに努めていきたいと思えます。

財源確保等の課題がありますが、多くの児童・生徒をはじめ、先生から要望のあった「スポーツ屋台村」などを引き続き実施していきたいと思えます。

(NPO法人しいだコミュニティ倶楽部 理事長 久本 成美)

## クラブ プロフィール

**設立年月日** 平成17年3月26日(平成24年11月26日法人登記)

**所在地** 福岡県築上郡築上町大字高塚787番地2

**運営** 会員数:個人226名、団体3(令和4年3月現在)

**予算規模** 10,686千円(令和3年度)

**特徴** 地域住民が気楽に集まって、多種多様なスポーツ活動や文化活動を通じて、より良い人間関係をつくり、地域の連帯感や、それぞれの生活の中に「幸せ」や「楽しさ」を生み出すクラブです。

**連絡先** 〒829-0331 福岡県築上郡築上町大字高塚787番地2

TEL 0930-56-0075 FAX 0930-56-0075

E-Mail [s-taiikukan@mild.ocn.ne.jp](mailto:s-taiikukan@mild.ocn.ne.jp)